

福岡県医発第118号(保)

平成16年4月16日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 竹嶋 康弘

社会保険診療報酬検討委員会の成果物の送付について

日本医師会社会保険診療報酬検討委員会「答申」につきましては、平成16年2月13日付福岡県医発第1990号(保)にてお送りいたしておりますが、今般、本委員会における①月内逓減制の廃止および減算方式の廃止を求める「緊急要望書」、②平成14年4月診療報酬改定に関する不合理点・矛盾点等の指摘、③平成16年4月診療報酬改定に対する「要望書」、④本委員会で今後検討すべき課題につきまして、日本医師会より別紙のとおり報告がありましたので、参考までにお送りいたします。

小郡三井医師会より
上記資料につきましてはかなりの量ですので、医師会事務局にて閲覧願います。

担当理事 友清 明

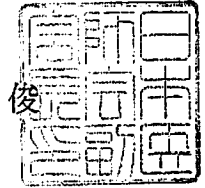




都道府県医師会長 殿

日本医師会副会長

青 柳



社会保険診療報酬検討委員会の成果物の送付について

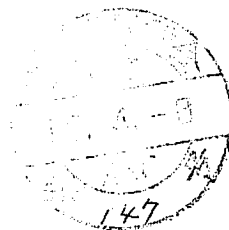
平成14年・15年度の社会保険診療報酬検討委員会（秦喜八郎委員長（宮崎県医師会長））におきましては、2年間に渡り、真剣なご討議・ご検討を賜りました。

本委員会への会長諮問「診療報酬改定の影響とその対応」に対する「答申書」につきましては、平成16年1月30日付けの保険担当理事宛の事務連絡（保155）でご連絡させていただきました。

今般、答申書以外にとりまとめ、意見具申していただいた4件（①月内通減制の廃止および減算方式の廃止を求める「緊急要望書」、②平成14年4月診療報酬改定に関する不合理点・矛盾点等の指摘、③平成16年4月診療報酬改定に対する「要望書」、④本委員会で今後検討すべき課題）につきまして、冊子を作成いたしましたので、一括してご報告させていただきます。ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

（添付資料）

1. 緊急要望書（平成14年12月11日）
2. 平成14年4月診療報酬改定の不合理点等（平成15年6月18日）
3. 社会保険・老人保健診療報酬改定要望事項（平成16年度）
（平成15年10月8日）
4. 社会保険診療報酬検討委員会で今後検討すべき課題
（平成16年3月26日）



平成14年12月11日

日本医師会長
坪井 栄孝 殿

社会保険診療報酬検討委員会
委員長 秦 喜八郎

緊 急 要 望 書

平成14年4月実施の診療報酬改定では、当初想定されていた引き下げ幅以上の影響が大きく、医療現場では非常な打撃を受けています。このままでは健全な医業経営は実現できず、地域医療が崩壊しかねません。

本委員会は、このような状況に鑑み、中央社会保険医療協議会において、以下の2項目が早期実現されますよう、ここに緊急要望申し上げます。

1. 月内逋減制の廃止
2. 減算制の廃止